

7. 脚を塗装して取り付ける

<p>脚のセットは白レジンに串をつけた状態で提供しますので、まず表面を紙やすりで均します。</p> 	<p>お好み色に塗装してください</p> 	<p>脚を取り付けたい位置に目打ちで2カ所穴を明けます。</p> 
<p>串に木工ボンドをつけます。</p> 	<p>下地の穴にしっかり差し込みます。</p> 	<p>脚のガタツキを調整したら完成です。</p> 



以上







偉そうなソファ medium (18~22cm ドール用) 製作マニュアル 中とし 「切れ目とパーツの配置図」付き






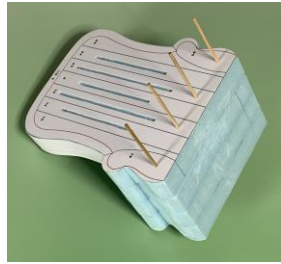

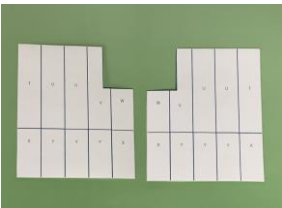

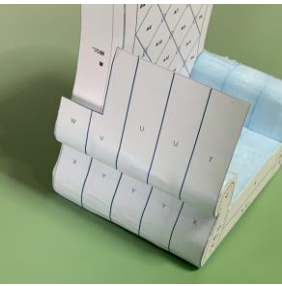

キット内容	
<ul style="list-style-type: none"> ・スタイロフォーム 座面 25mm厚 3枚 背板 25mm厚 1枚 ・飾りボタン素材 18セット (見本付) ブラッド 6mm 径 ステンレス針金 Φ0.3mm ・型紙 綿型紙 (綿付)、布型紙 (合皮付)、台紙、 スタイロ貼付型紙、鋏打ち型紙 ・底布 (ダブルガーゼ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・脚セット 4本 ・紙やすり ・Tピン Φ0.7mm 119本+α ・背板極小区画補強用竹ひご ・下地補強用竹串 8本 ・飾りボタン固定用竹ひご (83mm×3、112mm×2) ・飾りボタン用針 ・極細目打ち ・補修用スタイロフォーム

ご用意いただくもの	
<ul style="list-style-type: none"> ・ヘラ (スパチュラ、木目込みヘラなど) ・デザインカッター ・木工ボンド または スチのり ・ハサミ ・目打ち ・ヤットコ または ラジオペンチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニッパー ・木綿糸 (細口) ・両面テープ (一般用) ・セロテープ ・脚の塗装用具

<製作手順>

1. スタイロフォームの下地を組み立てる

<p>下地用型紙の裏面全面に両面テープを貼って、写真のように外形線から切り抜きます。</p> 	<p>下地は4パーツに分かれていますので、下地用型紙を貼り付けながら組み立てます。</p> 	<p>背板の裏面に型紙を貼り付けます。</p> 
<p>デザインカッターで図のように深さ5mmのV字型の溝を切ります。</p> 	<p>背板全面と背板側面に型紙を貼り付けます。</p> 	<p>B-R,B-L,H-R,H-L,D-R,D-Lの各区画に極小目打ちで穴を明けて、先を削って尖らせた背板極小区画補強用竹ひごを木工ボンドをつけて約1.5cm差し込み、ニッパーで切ります。</p> 

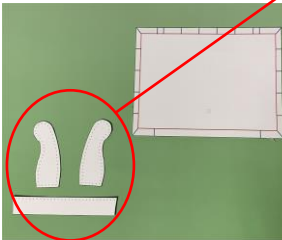

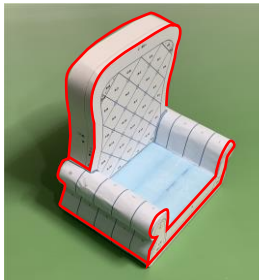
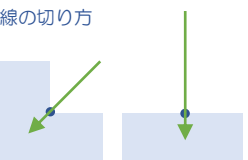
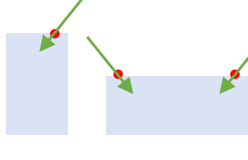
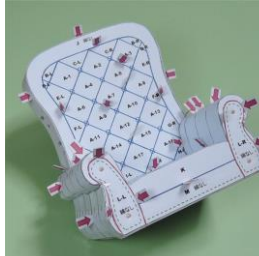


<p>座面をスチのりまたは木工ボンドで貼り合せます。</p> 	<p>スチのりを使用する場合は、両面に薄く塗って表面が乾いたら強く圧迫して貼り付けます。</p> <p>木工ボンドを使用する場合は、片面に塗ってすぐに貼り合せ、固定するまでマステ等で固定します。</p>	<p>座面前面に型紙を貼り付けます。</p> 
<p>座面と背板をスチのりまたは木工ボンドで貼り合せます。</p> 	<p>下地補強用爪楊枝を写真のように4cmくらい差し込みます。</p> 	<p>下地ギリギリをニッパーで切り取ります。</p> 
<p>下地補強用爪楊枝を写真のように5cmくらい差し込みます。</p> 	<p>下地ギリギリをニッパーで切り取ります。</p> 	<p>下地用型紙を写真のように外形線で切り抜きます。</p> 
<p>下地用型紙を写真のように折ってから剥離紙をはがし、折り目から下地側面に貼り付けます。</p> 	<p>下辺にピッタリ…のはず。</p> 	<p>座面にもピッタリ…のはず。</p> 

<p>底板の全面に両面テープを貼り、底布(ダブルガーゼ)を貼り付けます。</p> 	<p>他の区画と同様に、底布も切れ目に差し込みます。(余分な布は切り取って残りを差し込みます)</p> 	<p>これで全ての区画の布を張り終わりました。</p>
--	---	-----------------------------

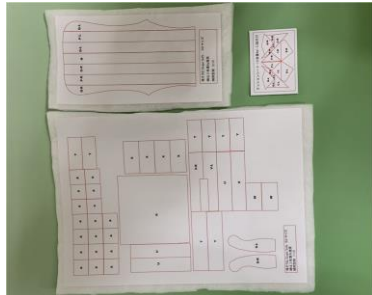

6. 鋲を打つ

<p>鋲は0.7mmのTピンの頭を使って表現します。ニッパーでTピンを15~20mmで斜めに切り取ります。</p> 	<p>鋲打ち型紙の点と点の間をデザインカッターで破線状に切込みを入れて外形線で切り抜きます。</p> 	<p>前面の区画L-R, L-R, Mに鋲打ち型紙を当てて、極細目打ちで穴を明けてTピンを差します。</p> 
<p>Tピンをヤットコなどでつまみながら差し込むと綺麗に差せます。</p> 	<p>鋲打ち型紙を破り取ります。</p> 	<p>Tピンの頭をしっかり押し込むます。区画L-R, L-R, Mに同様の方法で鋲を打ちます。</p> 

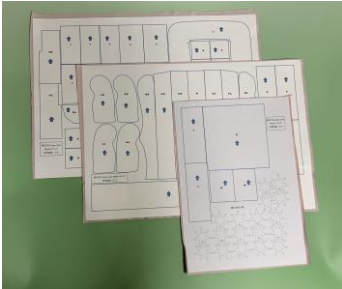

<p>裏に通した針金を飾りボタン固定用竹ひごに巻き付けてねじります。</p> 	<p>ねじった針金をニッパーで短く切り先を下地に差し込みます。</p> 	<p>全ての飾りボタンの裏側の処理が終わりました。</p> 
<p>飾りボタンの表側はこのようになります。</p> 	<p>背板裏側の区画N, O, P, Q, Sに綿を挟みながら布を張ります。</p> 	<p>背板裏側のすべての区画を張り終わりました。</p> 
<p>背板前面の区画Jに布を張ります。綿は不要です。側面の切込みは斜めなので注意してください。</p> 	<p>区画Jを張り終わったところです。</p> 	<p>隣接する区画Rも同様に布だけを張ります。</p> 
<p>肘掛の区画X, Y, T, U, V, Wに綿を挟みながら布を張ります。</p> 	<p>座面の区画Kに綿を挟みながら布を張ります。(奥から手前方向に張っていきます)</p> 	<p>前面の区画L-L, L-R, Mに台紙を両面テープで貼り付けた後で、綿を挟まず布を張ります。</p> 

<p>台紙の裏面全面に両面テープを貼って、写真のように外形線で切り抜きます。</p> 	<p>底に貼り付けます。底板以外の台紙は後で布張りの時に使います。</p> 	<p>型紙のつなぎ目をセロテープで補強します。</p> 
<p>型紙に従ってデザインナイフで8mm位の深さで切れ目を入れます。</p> <p>青線の切り方</p> 	<p>赤線の切り方</p>  <p>端はまっすぐ切ると布を差込んだ時にめくれてしまうので、内側に向けて斜めに切る</p>	<p>切る方向の見本(1)</p> 
<p>切る方向の見本(2)</p> 	<p>切る方向の見本(3)</p> 	<p>これで下地が完成しました。</p>

2. 綿型紙を切り抜く

<p>綿型紙の外形線に沿ってすべてのパーツを切り抜きます。</p> 	<p>表、裏、手すり等おおまかに小分けしておくといでしょう。</p> 
---	--

3. 布型紙を切り抜く

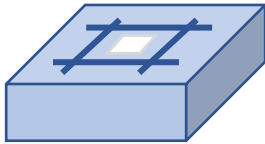
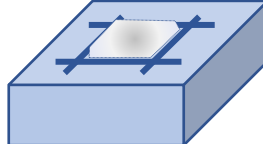
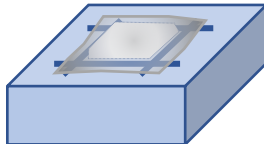
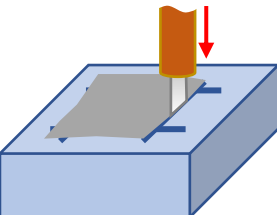
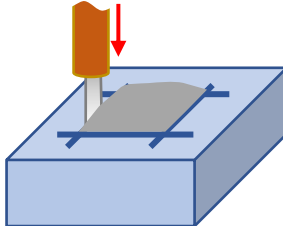
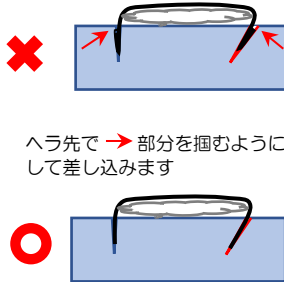

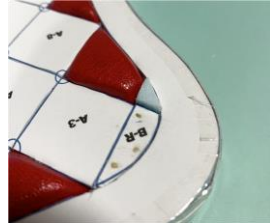




<p>布型紙の外形線に沿ってすべてのパーツを切り抜きます。</p> 	<p>表、裏、手すり、飾りボタン等おおまかに小分けしておくとよいでしょう。</p> 
---	---

4. 飾りボタンを作る (忍耐力の修行)

<p>キットには飾りボタンの完成品 1 本、中間製品 1 本 (※)、部品 16 セットが入っています。うち 1 セットは予備で、使用するのは 17 本です。</p> 	<p>ブラッドの足をヤットコを使ってタコのように外向きに曲げます。</p> 	<p>針金をブラッドの足に S 字に巻きつけてねじります。</p> 
<p>足を両側からヤットコで潰して針金を固定します。(※)</p> 	<p>飾りボタン用布パーツの裏紙をはがして、ブラッドの頭を軽く接着します。</p> 	<p>布でブラッドの頭を包み、糸で首の部分をつまみます。</p> 
<p>余り布を斜めに削ぎ切り、糸をぐるぐる巻いてクサビ型に仕上げ、縛ります。</p> 	<p>余り糸が気になるときは、接着剤で巻き留めます。</p> 	<p>17 本の飾りボタンが完成しました。左側の針はソファにセットするとき 사용합니다。</p> 

5. 下地の各区画に綿を挟みながら布を差し込む

(区画 J, R, L-L, L-R, M, Z は布だけを張って綿を挟みません)

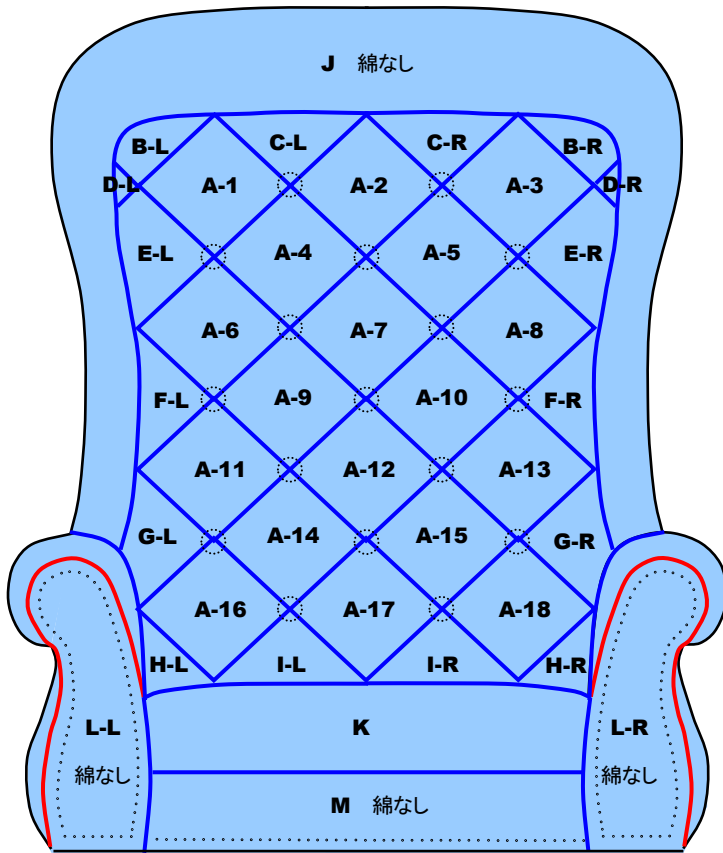
<p>布を張る手順 (1) 張る区画に両面テープまたはのりをつけます。</p> 	<p>布を張る手順 (2) 綿パーツの紙をはがさず、区画の線にかからないように、紙の側を貼り付けます。</p> 	<p>布を張る手順 (3) 布パーツの紙をはがして、区画の上に布をかぶせます。</p> 
<p>布を張る手順 (4) 区画の中央を指で押さえながら布の端をヘラの先で掴むように切れ目に布を差し込みます。赤い線の切れ目はとくに差し込み方向に注意してください。</p> 	<p>布を張る手順 (5) 一区画の周囲すべての切れ目に布を差し込みます。</p> 	<p>切れ目の内部で布が二重にならないように注意してください。</p>  <p>ヘラ先で → 部分を掴むようにして差し込みます</p>
<p>背板前面から張り始めます。 (区画 A~I)</p> 	<p>区画 D-L, D-R は下地が崩れやすいので、崩れた場合は補修用スタイロフォームを区画の形に切って差し込み、その上から布を張ります。</p> 	<p>背板前面を張り終わったら、目打ちで飾りボタンを取り付ける穴を明けます。</p> 
<p>飾りボタンの針金部分を針に通します。</p> 	<p>裏側に針を通して、飾りボタンの針金部分を裏から出します。</p> 	<p>飾りボタンは裏から無理に引っ張らず、前から押し込みます。</p> 

裏面の「切れ目とパーツの配置図」は

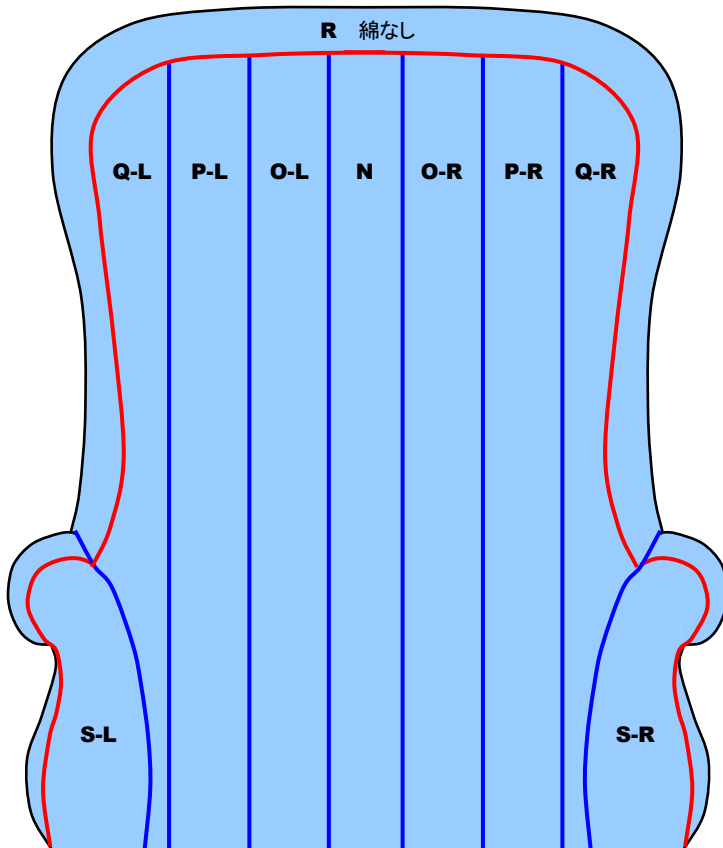
綴じ針を開けば取り外すことができます

切れ目とパーツの配置図(65%縮小)

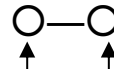
<正面図>



<背面図>



記号の説明

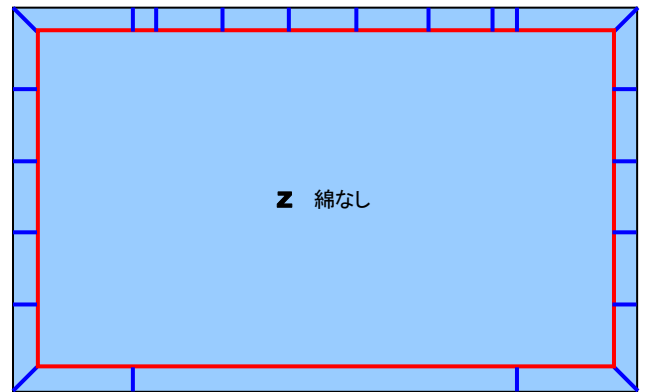


同形の場合は通番を付与し互換
L, Rは左右反転形を表し互いに非互換

同じアルファベットは、同形もしくは左右反転形

(○-○) カッコ内は図の反対側のパーツを表す

<底面図>



<側面図>

